

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
第1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	11	B	148	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
1	教育に関する目標を達成するための措置	A	1	B	78	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
(1)	教育の成果に関する目標を達成するための措置	A	1	B	25	C	0	D	0	II	中期目標の数値目標（国家試験の合格率）について、医師国家試験と保健師国家試験ではほとんどの年度で数値目標を達成し、看護師国家試験ではほとんどの年度でわずかに数値目標に及ばなかったものの、平成23年度に数値目標を達成したことについて評価できる。
		医学又は看護学に関する専門的な知識及び技術を系統的に習得させるとともに、自ら課題を探究し、自立して問題を解決する力を育成するため、テュートリアル授業の充実を図るなど、おおむね計画どおり実施した。									
(2)	教育内容等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	35	C	0	D	0	II	平成20年度から平成23年度にかけての医学部入学定員増について、推薦入試枠の拡充等、適切に対応したことについて評価できる。
		地域医療を担う医療従事者を確保するため、推薦枠等の検討を行い、これまでの「県外枠」に加えて、新たに「県内特別枠」を設けて募集を行うなど、おおむね計画どおり実施した。									
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	医学部総合科学研究棟、看護学部棟及び手術部にスキル・ラボラトリー（実践的臨床教育訓練室）を設置して、授業や実習・研修会等で積極的に活用するとともに、スキル・ラボラトリーの更なる活用のため、一部診療科のローテーションを見直しを行ったことについて評価できる。
		学長（理事長）の裁量により弾力的、機動的に配置できる教職員定数枠及びその運用手続き等を整備するなど、おおむね計画どおり実施した。									
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	A	0	B	9	C	0	D	0	II	オフィスアワー（教員が学生の履修相談等に応じるために待機する特定の時間）を設定するなど、学生の相談体制の充実に努めるとともに、医学部においては、入学定員増に伴い、個々の学生に対して教員の目が行き届くよう、第1学年次から第2学年次において担任制を導入した。加えて、メンタル面のケアが必要な学生について、大学健康管理センター所属のカウンセラーと連携して対応するなど、これらの取組について評価できる。
		教務委員である教員を中心にオフィスアワー（学生からの相談を受ける特定の時間帯）を開設し、学生への支援をするなど、おおむね計画どおり実施した。									
2	研究に関する目標を達成するための措置	A	1	B	26	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。									
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	14	C	0	D	0	II	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の公募事業を活用して、トランスレーショナル・リサーチ・センターを設置し、乳がん、肺がん等の様々ながん組織検体の採取を行うとともに、文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構（JST）の拠点整備事業にかかる研究施設・設備等の整備を進め、「ふくしま医療一産業リエゾン支援拠点」を設置し、地域産学官の共同研究の推進に努めたことについて評価できる。
		研究費補助金等の間接経費を活用し、プロジェクト研究及び研究支援事業を実施し、次世代を担う研究に発展しうる萌芽的な研究の育成、国際的な競争力を持つ若手研究者の育成についての取組を充実させるなど、おおむね計画どおり実施した。									

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
	(2)	研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置	A	1	B	12	C	0	D	0	II	助手以上の教員が競争的資金の獲得を目指す申請を年1件以上行うことを目標に掲げて研究資金の獲得に努め、奨学寄附金を含む外部資金受入額は、平成22年度及び平成23年度において平成18年度と比較して約6億円上回ったことについて評価できる。
		外部研究資金による研究棟の推進を図るため、任期付教員制度を創設及び活用するなど、おおむね計画どおり実施した。										
3		地域貢献に関する目標を達成するための措置	A	5	B	13	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
	(1)	教育研究における地域社会や県政との連携・協力に関する具体的方策	A	2	B	4	C	0	D	0	II	県と連携し、原子力災害による放射線の影響を踏まえ、県民の健康管理を目的とした「県民健康管理調査」の実施体制を整えとともに、調査を実施したことについて評価できる。
		長期休業期間を利用し、医療人育成・支援センターが主体となって、10個のプログラムからなる「地域交流事業」を、地域とともに取り組むなど、おおむね計画どおり実施した。										
	(2)	地域医療の支援に関する具体的方策	A	1	B	4	C	0	D	0	II	地域の医師不足解消のため、地域医療支援担当教員、公的病院支援担当教員、政策医療等支援教員を地域に派遣して支援を行うとともに、相双医療圏の医療機関に対し、地域医療再生支援教員を派遣して支援を行ったことについて評価できる。
		地域の医師不足解消のため、教員をへき地医療の拠点病院や公的医療機関、地域医療や救急・災害・周産期・感染症等の分野に貢献していると認められる民間病院へ派遣し、支援を行うなど、おおむね計画どおり実施した。										
	(3)	地域保健の支援に関する具体的方策	A	1	B	1	C	0	D	0	II	
		地域医療を担う医師・看護師等を対象にした講習会を定期的開催し、県内全域の医療人育成・支援を図るなど、おおむね計画どおり実施した。										
	(4)	地域産業の振興に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	県内の国公立大学間による「アカデミアコンソーシアムふくしま地域連携部会」等に参画し、他大学や企業との情報交換や相互交流を行うなど、産学官連携の推進に努めたことについて評価できる。
		民間企業等との共同研究において、企業から研究員を受け入れ、人材交流を行うなど、おおむね計画どおり実施した。										
	(5)	地域貢献の評価に関する具体的方策	A	1	B	0	C	0	D	0	II	医療人育成・支援センターにおいて、卒前教育から卒後研修、生涯教育、女性医師復帰支援まで、一貫して医師のキャリア全般を支援したことについて評価できる。
		医療人育成・支援センターによる、卒前教育から卒後研修、生涯教育、女性医師復帰支援までの一貫した医師のキャリア全般に対する支援など、おおむね計画どおり実施した。										
4		国際交流に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
	(1)	留学生交流、その他諸外国の大学・研究機関等との教育研究上の交流に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	国際学術交流協定を締結している武漢大学（中国）との国際学術交流事業の成果を踏まえ、国際交流指針を策定するとともに、これまでの実績の評価と今後の交流の在り方を検討し、武漢大学からの訪問団との間で、意見交換や協定の更新を行い、平成21年度に医学部5年生2名を、平成22年度からは4年生4名を、約1か月武漢大学に留学させるなど、学生間の国際交流を通じた相互理解、信頼関係の醸成に努めたことについて評価できる。
		中国武漢大学との国際交流を図るなど、おおむね計画どおり実施した。										
5		大学附属病院に関する目標を達成するための措置	A	4	B	26	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
(1)	1	良質な医療人の育成に関する具体的方策	A	2	B	2	C	0	D	0	II	医療人の養成と生涯にわたる支援等を行う部署として、医療人育成・支援センターを設置し、卒前教育から卒後研修、生涯教育、女性医師復帰支援まで一貫して医師のキャリア全般を支援するなど、おおむね計画どおり実施した。
(1)	2	高度で先進的な医療の研究・開発とEBMの推進に関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	治験センターを設置して、治験、医薬品の製造販売後の臨床研究、使用成績調査等を行うとともに、他病院との連携により、治験ネットワークを構築したことについて評価できる。
(2)		高度で先進的な良質な医療の提供に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	県の三次救急医療機関として、重篤な患者に高度な医療を提供するため、救命救急センターの機能を充実させるとともに、ドクターヘリの円滑な運航を行ったことについて評価できる。
(3)		患者の安全管理と患者サービスの向上に関する具体的方策	A	0	B	8	C	0	D	0	II	コーヒーストアやコンビニエンスストアを開業するとともに、病棟や院内の諸設備について改修を行い、患者や家族のアメニティ（快適さ）の向上に努めたことについて評価できる。
(4)		地域との連携に関する具体的方策	A	2	B	1	C	0	D	0	II	平成21年度以降、紹介率50%以上を達成するなど、おおむね計画どおり実施した。
(5)		安定的かつ効果的な病院経営に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	7対1基準看護取得のために看護師を増員したほか、病院機能充実に必要なコメディカル等の増員を行うなど、おおむね計画どおり実施した。
(6)		会津医療センター（仮称）に関する具体的方策	A	0	B	1	C	0	D	0	II	会津医療センター準備室を設置し、施設整備に係る条件整理や運営システムの検討や医師の確保など、センターの開設準備を進めたことについて評価できる。
第2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	5	B	40	C	0	D	0	II	おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。
1		運営体制の改善に関する目標を達成するための措置	A	1	B	11	C	0	D	0	II	おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。
(1)		効果的な組織運営に関する具体的方策	A	1	B	8	C	0	D	0	II	担当理事を中心とした各種会議の定期的な開催を通じて、情報の共有化等により、組織内の連携強化を図るなど、おおむね計画どおり実施した。

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価			
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項		
	(2)	全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	外部資金の間接経費を活用し、研究支援事業を実施するとともに、外部資金受入窓口を知的財産管理活用オフィスに一本化し、外部資金の状況に関する情報を集約化できる体制としたことについて評価できる。
		役員会において決定した配分方針に基づき、外部資金の間接経費による事業を実施するなど、おおむね計画どおり実施した。										
2		教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
	(1)	教育研究組織の編成・見直しのシステムに関する具体的方策	A	0	B	6	C	0	D	0	II	内科・外科系講座の部門化や病理学講座の再編を行うとともに、附属病院救急科、輸血・移植免疫部、地域・家庭医療部を講座化し、教育研究体制の強化を図ったことについて評価できる。
		教育研究体制の強化を図るため、内科・外科系講座の部門化や病理学講座の再編を行うとともに、附属病院救急科、輸血・移植免疫部、地域・家庭医療部を講座化するなど、おおむね計画どおり実施した。										
3		教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	13	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
	(1)	人材の確保に関する具体的方策	A	2	B	10	C	0	D	0	II	附属病院の業務を効率的に行うため、病院業務に精通した民間企業出身者を法人事務職員として採用したことについて評価できる。
		外部の優れた人材を確保するため、外部資金等を財源とした任期付のプロジェクト研究教員の制度を創設するなど、おおむね計画どおり実施した。										
	(2)	非公務員型を生かした柔軟かつ多様な人事システムの構築に関する具体的方策	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
		平成20年度に教育・研究活動などの自己評価のためのデータベースシステムを構築するなど、おおむね計画どおり実施した。										
4		事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	A	2	B	10	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
	(1)	事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策	A	2	B	5	C	0	D	0	II	各年度に事務組織の改正・再編を行い、翌年度にはその効果を検証するとともに、その結果に基づいて、必要な見直しを行うなど、おおむね計画どおり実施した。
	(2)	事務等の効率化に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	
		共通性の高い業務について、大学間の連携を図るなど、おおむね計画どおり実施した。										
第3		財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	1	B	14	C	0	D	0	II	
		おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。										
1		外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	A	1	B	7	C	0	D	0	II	近隣医療機関との治験ネットワーク等を活用し、受託研究や共同研究等を推進することにより、外部資金（治験を含む）を法人化前より多く獲得するなど、毎年、積極的に外部資金の獲得に努めたことについて評価できる。
		本学における産学連携可能な研究について、産学連携ホームページ上で公開し、研究の契約増加等を図るなど、おおむね計画どおり実施した。										

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価							評価委員会評価		
		計画達成の状況							項目別評価	評価における特記事項	
2	経費の節減に関する目標を達成するための措置	A	0	B	5	C	0	D	0	II	4委託業務(電気設備、機械設備、緑地管理、廃棄物処理)について一般競争入札を実施し、経費削減を図ったこと、外部への委託化が可能な業務の洗い出し調査を行い、ボイラー管理業務をほぼ全面委託とし、また清掃業務やコピー機器のリース契約を複数年契約とするなどにより、経費節減に努めたことは評価できる。
3	資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置	A	0	B	2	C	0	D	0	II	固定資産活用推進ワーキンググループを設置し、学内施設の外部貸付を検討して、その結果を基に「固定資産貸付要領」を取りまとめるなど、資産の適正な運用管理に努めたことについて評価できる。
第4	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価に関する目標を達成するためにとるべき措置	A	0	B	11	C	0	D	0	II	おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。
1	自己点検・評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	5	C	0	D	0	II	平成20年度に教育・研究活動などの自己評価のためのデータベースシステムを構築するとともに、逐次、評価室両学部教員評価委員会において検証して入力マニュアルの改訂等を行うなど、おおむね計画どおり実施した。
2	第三者評価の実施に関する具体的方策	A	0	B	2	C	0	D	0	II	大学としての自己点検・評価の実施のための組織として評価室を設置し、県公立大学法人評価委員会の評価及び独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価に向けた取組を行うなど、おおむね計画どおり実施した。
3	評価結果の活用に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	県公立大学法人評価委員会による評価結果をホームページで公開するとともに、大学認証評価等で改善を求められた事項について、評価室及び役員会等で担当役員等に説明と定期的な報告を求め、その改善を促したことについて評価できる。
第5	教育及び研究並びに組織及び運営の状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。
1	大学情報の積極的な公開・提供及び広報に関する具体的方策	A	0	B	4	C	0	D	0	II	ホームページについて、教職員や学生からの意見(アンケート)を踏まえて業者を選定する企画コンペを実施して全面リニューアルを行うとともに、対象者別入口の設定(ページ構成の変更)や情報の逐次更新を行うなど、閲覧者が情報を得やすいよう、内容の充実等に努めたことについて評価できる。
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	A	0	B	10	C	0	D	0	II	おおむね計画どおり実施し、一定の成果を上げた。

第2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価	
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項
1	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	A	0	B	4	C	0	D	0	II	
		ユニバーサルデザイン指針に基づき、リハビリテーションセンター増改築、外来化学療法センター、形成外科外来、性差医療センター、内視鏡診療部、呼吸器内科外来改修等の診療体制整備事業を実施するなど、おおむね計画どおり実施した。									
2	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	A	0	B	6	C	0	D	0	II	県や市町村が主催する防災訓練にDMAT及びドクターヘリを参加させて、関係機関との連携を深めたことについて評価できる。
		厚生労働省や東北7県主催によるDMAT（災害派遣医療チーム）の訓練に毎年参加するとともに、県や市町村が主催する防災訓練にもDMAT及びドクターヘリを参加させ、関係機関との連携を深めるなど、おおむね計画どおり実施した。									
第1～第6（計244項目）		A	17	B	227	C	0	D	0	II	

注1:自己評価の考え方

- A・・・中期計画を上回って実施している
- B・・・中期計画を予定どおりに実施している(達成度がおおむね90%以上)
- C・・・中期計画を下回って実施している(達成度がおおむね60%以上90%未満)
- D・・・中期計画を大幅に下回っている、または実施していない(達成度が60%未満)

注2:評価委員会の評価の考え方

- I・・・中期目標を十分に実施できている
- II・・・中期目標をおおむね実施できている
- III・・・中期目標を十分に実施できていない
- IV・・・中期目標を実施できていない